

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査書

平成27年10月作成

指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

1 絵本の充実と整備

施策・方針	<p>ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることが出来る環境の整備を行います。</p> <p>イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。</p>
-------	---

実績 平成26年度 実績・課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園での絵本の購入実績は、0冊～5冊が3施設、6冊～10冊が5施設、11冊以上が9施設で、昨年度より購入冊数が増加しました。 ・今年度も企業からの寄付として各保育所〔園〕15施設に30冊程度の絵本の寄付があり、各施設一定の絵本の環境整備がなされました。 ・図書館訪問を行った保育所〔園〕・幼稚園は7施設、移動図書館を利用した保育所〔園〕・幼稚園は7施設でした。自園の蔵書数が多い園では親子で選んだ絵本を貸し出すことで、家庭読書の推進を図っています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館からの各園職員個人による絵本の借り入れは積極的に行っていますが、団体貸出を利用している園は4施設と低い状況にあることから、周知に努める必要があります。 ・図書館利用や移動図書館の利用が困難な公立保育所・幼稚園が利用するためには、移手段の検討が必要です。
-----------------------	---

重点取組事業 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、それぞれ図書10冊分の購入財源を確保します。 ・各保育室の絵本コーナーの環境整備を行い、子どもと絵本との出会いを充実していきます。 ・遠足の機会を利用しての図書館訪問や、移動図書館の活用を促進するとともに、利用が困難な保育所〔園〕・幼稚園では、団体貸出を利用することで、子どもたちが絵本に触れる機会を積極的に作って行きます。
------------------	--

重点取組事業(案) 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、それぞれ図書10冊分の購入財源の確保を引き続き行います。 ・各保育室に設置した絵本コーナーに、季節の絵本や保育の活動内容に関連した絵本を工夫して置き、子どもと絵本の出会いを充実していきます。 ・交通面で図書館訪問を実施できない公立保育所・幼稚園では、市のマイクロバスを利用するなど検討し、図書館訪問を行うよう取り組むとともに、団体貸出の周知に努めます。
---------------------	--

2 読書活動推進のための取組

施策・方針	<p>ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。</p> <p>イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。</p> <p>ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。</p>
-------	---

実績 平成26年度 実績・課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員向けの講座を実施した施設は7施設、保護者向けの講座を実施した施設は4施設でした。 ・こども支援センターかがやきでは毎月3～4回、マイ保育ステーション2カ所では毎月1回、在宅家庭を対象に絵本の読み聞かせを行いました。 ・園だよりでの絵本紹介を実施している施設は、昨年より3施設増え14施設でした。 ・ボランティアによる読み聞かせを実施した施設は6施設で、昨年より4施設増えました。 ・今年度も乳児・幼児各主任会で、絵本に関する情報交換を年5回実施しました。 ・絵本に関する職員向け講演会等へ延べ104名の参加がありました。 ・ブックスタート事業では、621名の対象者に対し445名に絵本の配付が行われ、受取率は71.7%でした。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業の受取率の改善のため配付場所の再考が必要です。 ・親子読書の推進を図るために、園だよりや行事の機会を利用し絵本の紹介や、読書啓発に努めていくことが必要です。
-----------------------	--

重点取組事業 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラス懇談会を利用して絵本紹介を行い、親子読書の推進に努めます。 ・ボランティアを必要としている園に、ボランティアを紹介できるように図書館等と連携します。 ・年5回開催する乳児・幼児主任会を利用し、絵本に関する情報交換を継続して実施します。 ・保育士・教諭向けの絵本に関する研修を年1回は企画し、専門性の向上に努めます。
------------------	---

重点取組事業(案) 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に関する研修会を企画するとともに他の機関が実施する研修の案内を行い、積極的に参加の呼びかけを行います。 ・年5回開催する乳児・幼児主任会を利用し、絵本に関する情報交換を継続して実施します。 ・園だよりやクラス懇談会を利用して絵本紹介を行い、親子読書の推進に努めます。 ・ボランティアを必要としている園に、ボランティアを紹介できるように図書館等と連携します。
---------------------	--

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成27年10月作成

指針2：小・中学校における読書活動の推進

1 学校図書館の資料の充実

<p>施策・方針</p>	<p>ア 国の平成24年（2012年）度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを旨とし、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。</p>
<p>実績・課題 平成26年度</p>	<p>実績 ・「学校図書館活性化事業」を行い、資料を充実させ、学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として機能させる等、図書館教育についての先進的な取組への支援を行いました。（モデル校：蔵持小、比奈知小、錦生赤目小、梅が丘小） ・図書購入費は、厳しい市の財政状況が続く中、平成25年度予算では減額を余儀なくされましたが、平成26年度予算は平成24年度並みにもどすことができました。（小学校3,778,000円、中学校2,989,000円）</p> <p>課題 ・平成26年度末の学校図書館図書標準の達成率ごとの学校数は、小学校は25～50%未満が1校、50～75%未満が11校、75～100%未満が1校、100%達成が1校でした。中学校は25～50%未満が2校、50～75%未満が2校、75～100%未満が1校、100%達成が0校で、各校の達成率は少しずつ上昇しているものの、達成率100%の学校は小学校で7%、中学校0%と目標値には及びません。 ・厳しい財政状況が続く中、今後は目標達成に向けて予算の確保とともにPTA等に呼び掛ける等、図書資料の充実のための工夫が必要です。</p>
<p>重点取組事業 平成27年度</p>	<p>・平成29年度末に学校図書館図書標準達成率100%の学校の割合が目標値に達するために、図書購入予算の確保に向けて重点的に取り組みます。 ・分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めます。 ・「学校図書館活性化事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるようさらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実します。 ・市立図書館と連携し、団体貸出の利用を進めます。</p>
<p>重点取組事業（案） 平成28年度</p>	<p>・平成29年度末に学校図書館図書標準達成率100%の学校の割合が目標値に達するために、図書購入予算の確保等資料の充実に向けて取り組みます。 ・分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めます。 ・「学校図書館活性化事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるようさらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実します。 ・市立図書館と連携し、団体貸出の利用を進めます。</p>

2 人的体制の整備

<p>施策・方針</p>	<p>ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。 イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。 ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりをすすめます。 エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。</p>
<p>実績・課題 平成26年度</p>	<p>実績 ・県の事業を受け業務委託により司書1名をモデル校に配置するとともに、学校図書館運営支援員3名が17校の小中学校を巡回して、すべての学校において図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行いました。学校司書が巡回した日には図書館の利用が増えたり、本を介して人とつながる居場所として利用する児童が見られたりしました。 ・6月に保育士・教職員と各校の図書館ボランティアを対象に教育センターで図書館ボランティア研修講座を実施しました。また、11月に名張市市民活動支援センター主催の「人づくりまちづくりは子どもの読書から That's 絵本 いい本との出会いのために」研修講座を名張市立図書館と教育センター共催で実施しました。 ・三重県教育委員会主催の「学校図書館活用フォーラム」や「高校生ビブリオバトル」の参加（観戦）、また、県の事業を受けたモデル校での読書活動推進のための研修会への参加を呼びかけ、司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを図りました。 ・司書教諭等と学校図書館運営支援員とが連携して取り組んできた、学校図書館資料の管理、図書館の環境整備・運営、児童生徒や教職員に対する情報サービス、読書活動推進、教科や特別活動等教育指導の支援等について、図書館教育担当者会において情報交換を行いました。（3回）</p> <p>課題 ・平成24年度から公立小中学校に週30時間の「学校司書」をおおむね2校に1校配置するための経費として地方財政措置が行われていますが、その状況には至っていません。</p>

重点取組事業 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・改正学校図書館法が、平成27年4月から施行されることから、「学校図書館運営支援員」を、「学校司書」と呼称を変え、職員のスキルアップを図ります。 ・「学校司書」が、学校図書館活性化事業モデル校4校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組(子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活発化等)を行います。 ・学校図書館ボランティアの増員を図ります。 ・司書教諭等や「学校司書」、学校図書館ボランティアのスキルアップのために研修会を年間1回は実施します。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年3回設けます。また、学校図書館ボランティアの手引きを配布し、活動の充実を図ります。
重点取組事業(案) 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修会等に参加するなど、学校司書のスキルアップを図ります。 ・学校司書が、学校図書館活性化事業モデル校4校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組(子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活発化等)を行います。 ・学校図書館ボランティアの増員を図ります。 ・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアのスキルアップのために研修会を年間1回は実施します。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回設けます。また、学校図書館ボランティアの手引きを活用し、活動の充実を図ります。

3 読書活動推進のための学校の取組

施策・方針	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会 で発信します。</p> <p>ウ <small>ウチドク</small> 家読の推進が図られるよう支援します。</p>
実績・課題 平成26年度	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料のデータベース化完了に伴い、バーコードによる貸し出しがすべての学校においてできるようになりました。(実用化できている学校:小学校14校、中学校4校)その結果、貸出密度や分類ごとの蔵書比率を必要に応じていつでも把握し、学校図書館運営に生かすことができるようになりました。貸出密度が高い学校の取組を図書館教育担当者会で交流しました。 ・PTAと連携し、学校図書館の環境整備や図書の充実、研修会の開催等、児童生徒の読書活動を支援しました。(比奈知小、箕曲小、桔梗が丘小、すずらん台小、梅が丘小、百合が丘小) ・全小中学校で「うちどくのスズメ」を記載した便りを全校児童生徒を通じて家庭へ配布し、家読の推進を図りました。毎学期「としよだより」を全校児童生徒に配布し、読書活動の推進に努めました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入や学校図書館教育の活性化に向けて、データを有効活用していくことが課題です。 ・各校が魅力ある「としよだより」を発行する等、PTAや地域と連携した読書活動の推進や学校図書館の活用について機会をとらえて発信する必要があります。
重点取組事業 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としよだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めます。 ・教育センターとして、名張市PTA連合会にも後援を依頼し保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回は実施します。
重点取組事業(案) 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としよだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めます。 ・教育センターとして、PTA等に後援いただき保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回は実施します。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成27年10月作成

指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どものための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

実績・課題 平成26年度	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵書冊数に占める児童書の割合 22.3%(児童書:13.0% 絵本:8.6% 紙芝居:0.6% 児童参考書:0.1%) 受入冊数に占める児童書の割合 21.4%(児童書:13.4% 絵本:7.8% 紙芝居:0.0% 児童参考書:0.2%) 平成26年度資料購入費(日本図書館協会公共図書館調査票の区分) 資料費:10,321,962円(内、図書費:9,223,399円 雑誌新聞費:1,069,359円 視聴覚資料費:29,204円) <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた資料費の中、蔵書構成全体のバランスを考えながら児童書の充実に努める必要があります。
-----------------	---

重点取組事業 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 受入冊数に占める児童書の割合の目標値を20%程度とします。 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。
------------------	--

重点取組事業(案) 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 受入冊数に占める児童書の割合の目標値を22%程度とします。 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。 上記の取組が可能な予算(平成27年度図書費予算額以上)を確保します。
---------------------	--

2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるように支援に努めます。</p>
-------	--

実績・課題 平成26年度	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 名張市市民活動支援センター、名張市教育センターと連携し、「人づくりまちづくりは子どもの読書から」をテーマに、増田喜昭さんの講演会を実施しました。(11月9日開催、参加者88人) 絵本作家・広瀬克也さんの講演会、ワークショップを読書活動グループと共催しました。(2月28日開催、参加者76人) おはなし会ボランティアを松本隆さんの講演会(伊勢市)に引率・同行したほか、近隣で開催される講演会等に関する情報提供を行いました。 平成27年6月更新の図書館業務委託仕様書に、児童サービスを担当する司書の選任を明記し、それに伴う予算措置を講じました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会等を実施する体制の充実が必要です。
-----------------	--

重点取組事業 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。 関係機関と連携して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回開催します。 児童サービス担当司書の確保について、平成27年6月から始まる次期の図書館業務委託の中で、その実現に努めます。
------------------	--

重点取組事業(案) 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。 関係機関と連携して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回開催します。 児童サービス担当司書を中心にして、児童サービスに関する知識や技術を高めていきます。
---------------------	---

3 地域における子どもの読書活動推進のための取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
<p>実績 平成26年度</p>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けに図書を紹介する児童特集展示を行いました。(22テーマ、延べ展示冊数:3,433冊、延べ貸出冊数:3,729冊) ・おはなし会等を実施しました。(延べ80回、924人参加) ・子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を開催しました。(4月19日開催:30人参加) ・図書館まつりを開催し、おはなし会や絵本を題材にした影絵劇を上演しました。(8月2日開催:60人参加) ・保育所〔園〕の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ21回) ・第7回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数:661点) ・教育フォーラム会場及び図書館ロビーで本の帯コンクール入賞作品を展示しました。 ・ブックスタート(事業の説明、読み聞かせ)を実施しました。(347人参加) ・保育所〔園〕・幼稚園等への団体貸出冊数:1,050冊
<p>重点取組事業 平成27年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用するなどして団体貸出の利用を勧めます。 ・おはなし会等の子ども向けの催しを実施します。 ・子ども向けの催しへの会場提供を積極的に行います。
<p>重点取組事業(案) 平成28年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用するなどして団体貸出の利用を勧めます。 ・児童サービス担当司書が中心となり、おはなし会等の子ども向けの催しを実施し、子どもの読書活動の推進に努めます。 ・子ども向けの催しに共催や後援を行うなどして積極的な支援に努めます。

4 市立図書館による学校図書館支援

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ M I L A I に参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、M I L A I に参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
<p>実績・課題 平成26年度</p>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学(小学校7校)、職場体験(中学校3校)、高校(1校)を受け入れました。 ・小中学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。 ・小中学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数:延べ34回) ・小中学校への団体貸出冊数:3,820冊 ・県立高校への団体貸出冊数:285冊 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の学校図書館支援のあり方について見直す必要があります。
<p>重点取組事業 平成27年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学、職場体験を受け入れます。 ・学校図書館支援を実施するにあたっては、小中学校との連携を密にし進めます。 ・図書館教育担当者会や小中学校への学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。 ・平成28年度からの中学校の学校図書館支援のあり方について検討します。
<p>重点取組事業(案) 平成28年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学、職場体験を受け入れ、その機会を利用して子どもの読書活動の推進に努めます。 ・学校図書館支援を実施するにあたっては、小中学校との連携を密にし進めます。とくに、中学校の学校図書館支援に重点的に取り組みます。 ・図書館教育担当者会や小中学校への学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。

1 指針1: 家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進について

・各保育所〔園〕では「絵本購入費」としては予算配分がないが、一冊でも多く購入できるようにと考えている。絵本に親しむことは、想像力を育むこと等につながり、職員も大切に考えている。企業からの寄付はありがたく、自ら絵本を手に取り、意欲的に絵本に親しむ子どもたちの姿が見られる。

・「絵本購入費」という独立した項目として予算がとれていない現状であるが、制度化されるようにできるだけ粘り強く努力されたい。

・市立図書館との協力、積極的な連携は、実効性のあるものである。関心のある先生が個人で絵本を借りるより、施設としてどうしていくというグランドデザインを描いて職員が共有できるような取組がよい。例えば、市立図書館の児童サービスの専門家を招聘して連携、推進すると変わってくる。手近なところに優れた絵本が潤沢にあるという状況をつくる。

2 指針2: 小・中学校における読書活動の推進について

・市の財政状況が厳しい中、平成26年度予算は、平成24年度並みに戻す努力をしていただいたことに感謝。学校評価の中に、いつも図書を増加を望む保護者の声がある。自校は児童数160人程度の小規模校であるが、平成25年度は150冊、平成26年度は180冊購入できた。しかし、まだ足りない状況だ。これを寄贈による図書60～80冊で補ってきており、PTAバザーによって支えられている。

・学校司書配置の効果は大きい。学校現場は多忙で、担任をしながら学校図書館の業務に専念することは難しい。学校司書なくして学校図書館は動かないといっているほどであり、継続して配置されることを望む。

・ボランティアの方に、毎週月曜日に、朝の読み聞かせの支援をいただいている。学校生活のスタートにこれをする意味は大きい。

・バザーの取組は、その活動を子どもたちと共有し伝える意味でも、よい循環となる取組だ。

・学校図書館に、「資料としての本」と「人」の二つは不可欠。最低限これがあれば、図書館は動き、癒しの場、学習の場となる。この二つについては苦労してもできるだけ早く実現を。

・学校図書館図書標準の達成率は、三重県は全国の平均より低い状況である。せめて三重県の平均レベルに達しないと実績は出にくい。汗をかいたことが結実するよう、資料増へのベーシックな取組の継続が必要だ。

・学校司書の存在は非常に大きい。県全体を見ても残念な配置状況であるが、増加への努力は必要。学校図書館の活用と学校司書の活用が教育の質の向上につながる。学校司書は整理員であってはならず、その力を引き出すように、学校全体で学校図書館をきちんと教育に位置づける必要がある。

・学校司書配置が少ない中でもチャレンジングに取組を。自由読書推進として、例えば、小中学校でもビブリオバトル名張決戦などの実践をすると、活気と刺激を与えることができる。教育センターより先進的な実践事例を発信することができるのではないかと。名張市の学校図書館が変わったという実績が、資料や人の充実につながる。

3 指針3: 市立図書館における子どもの読書活動の推進について

・市立図書館の持つノウハウを様々な施設に提供し、その役割を果たすよう協力体制を。例えば、七夕の機会をとらえ、団体貸出しを活用してコーナーを設置する。そうした保育所〔園〕・幼稚園へ、ボランティアの協力を受けながらブックトークやストーリーテリング等の出前をするような取組をすると、子どもたちの興味関心を引くと同時に、職員も市立図書館の活用について認識できる。本来は学校司書がいるとよいのだが、条件が整うことを待つのではなくチャレンジを。

・中学校への支援について、発達段階も学校の体制も小学校とは違い、まさにヤングアダルト世代を読書の世界へいざなう難しさがある。そういう世代だからこそ積極的に支援願いたい。図書館利用のオリエンテーションは、高校、大学でも実績がある。図書館ウォークラリーやブックオリエンテーション等、手法はいろいろであるが、中学校と綿密な打ち合わせを行い、おもしろい、生徒の興味をひく活動を提供することが大事である。

4 全体を通して

・本とどう向かい合うか、幼い時から家庭への啓発、支援をすることが大切と考える。

・予算、財政事情が厳しい中、頑張ってくださいという感想だ。

・図書館は、1対1で静かに本に向き合う個の学習空間も必要であるが、自学自習の場、また様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進める学習スタイルを可能にする場(ラーニング・コモンズ)という新しいイメージももってほしい。一度にとはいかないが、粘り腰で少しずつ努力を継続することが大切である。